



カメラ探訪

文学のふるさと

その23 やまなみハイウェイ

「目の下にひろがる草原はかすかな起伏を見せながら、遠ざかるに従ってうすくかすむエメラルドの海でした。新しい道路が、所々ヘアピン・カーブを描いて、その中に白く光ってつづいています。

「九州横断道路」は「新日本名所案内」のなかの一つで、別府から車で横断道路を通り、熊本市までやってきた紀行文です。

標高約1,000m、見渡す限りの大原野、瀬の本高原を九州横断道路が貫いたのは昭和39年。

九重、阿蘇の山々を縫うこのコースは国際観光ルートとして行楽客の人気を集めています。



わたしの ふるこの 郷土

玉名郡玉東町立木葉小学校 六年 田 辺 康 彦

ぼくたちの郷土、玉東町は、昭和三十年木葉村と山北村が合併して生まれました。

玉東町はその町名が示すとおり玉名郡の東部にあり、熊本県全体から見ると北部に位置します。東の方へ行くと、西南戦争で有名な史跡田原坂がある鹿本郡植木町で、西は約八キロメートルで玉名市、南は金峰山三の岳を経て飽託郡河内町及び天水町に、北は国見山を経て菊水町及び鹿本郡鹿央町と接する農業を中心とした町です。

町のほぼ中央を東西に国鉄鹿児島本線、国道二〇八号線と木葉川が平行して走っています。駅名は木葉駅といい、町の中心地となっています。

人口六千三百七十八人、世帯数千六百八十一世帯です。国道沿には大きな工場や商店なども建ち並び、にぎやかですが、反面、農業は年々専業農家が減り兼業農家が増えています。

町には中学校一つ、小学校二つありますが、町の中心地から離れた台地に建っており、緑に包まれた美しい環境の中にあります。

町は総面積二千四百ヘクタールに対して山林が約三四パーセントで、耕地八百九ヘクタールです。耕地のうち田約九パーセント、畑約五パーセント、果樹園地約二〇パーセントです。特にみかん畑は昭和三十五年六十四ヘクタールであったのが、今日では四百五十ヘクタールを越え、約五倍の広さと大へん増えています。

主な産業は、みかん生産の外、木葉山からとれる石灰岩をくだいてつくる石灰工場、蚕の糸を紡ぐ、製糸工場、九州オルガン針工場等があります。

木葉駅から西へ約一キロ行った国道沿に郷土玩具で有名な木葉猿のかま元があります。又、明治十年西南の役における激戦地跡（横山戦跡、吉次峠戦跡）、官軍墓地（高月官軍墓地、宇蘇浦官軍墓地、有栖川宮西南役督戦）、平安、鎌倉時代の寺院跡等たくさん史跡があります。ぼくたちも祖先が残した文化財を誇りとし、豊かで美しい町にするため努力していきたいと思えます。